



発行所
道前会

愛媛県西条市明屋敷 234
愛媛県立西条高校内
電話・FAX 0897-53-2192
saijodozen@yahoo.co.jp



書道部では、個人作品はもちろん、書道パフォーマンスにも力を入れています。

29年度の主な成績は、個人作品では愛媛県高等学校総合文化祭にて2名が最優秀賞を、うち1名は30年度の全国高等学校総合文化祭への推薦もいただきました。また、書道パフォーマンスでは第10回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会本戦に3年連続で出場し、3位入賞を果たすことができました。その他、えひめ国体ではオープンングプログラムとして愛媛県内5高校によるパフォーマンス披露を行い、西条市のサッカー会場に掲示するスローガンも揮毫しました。また、今年の1月にはテレビ愛媛の番組内で新年にちなんだパフォーマンスを生中継で披露しました。地域での活動としてはJA西条の方からの依頼で、情報誌の題字や看板制作などに挑戦しました。

部員は1年生3名、2年生8名という少人数ですが、「感謝の心を忘れない」をモットーに日々活動しています。

個人作品では、それぞれが気に入った古典を書き、自分自身の技術を磨くことに努めました。先人の筆法を真似て書くことにより、生徒の技術面で大きな成長が見られたと感じています。そして、個人作品を頑張ったからこそ行うことができるのが書道パフォーマンスです。個々で磨いた技術を持ち

寄り、一つの作品を完成させますが、パフォーマンスには、文字の美しさはもちろん、表現力や体力、協力が必要です。柔軟、筋力、体幹トレーニングに始まり、動きの練習、文字の練習と全てにおいてパフォーマンス部長が中心となり、生徒主体で練習を行っています。

普段は賑やかな生徒たちですが、演技が始まると空気と表情が一変し、パフォーマンスの世界観を作り出すことができます。また、今年は題字や看板の制作依頼を多くいただいたことにより、創作活動にも力を入れることができました。

頭からつま先まで墨で黒くなることも気にせず準備から始まり片付けに至るまで、仲間たちと書道を楽しんでいる姿が西条高校書道部です。そんな生徒たちとだからこそ、楽しく活動を行うことができます。そして、モットーにしてきた「感謝の心」をもち、周りの方々や使用している書道道具など様々な人や物に感謝をしてきました。使い古した道具の処分時に「ありがとう」と一言添えることができる生徒もいます。また、この1年間は、たくさんの方々に関わっていただいたおかげで大きな成果を得られました。これからも書道を通して感謝の心を忘れることなく、心豊かに成長できる部活動になればと思います。



第10回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会

進路状況

平成 29 年度 卒業生

平成 30 年 4 月 3 日現在

平成 29 年度 進路 (決定) 状況

Table showing career status for 29th fiscal year graduates with columns for year, category, gender, university type, and job status.

平成 29 年度 進路 (合格) 状況

Table showing career status for 29th fiscal year graduates with columns for year, category, gender, university type, and job status.

進路課長

矢野裕房

本年度より国際文理科の単独募集を始め、新たに二百八十名の新入生を迎えて、平成三十年度が始まりました。今年度は国際文理科第一期生が受験を迎える年となっております。

さて、今春の西条高校の進学状況ですが、国公立大学の合格延べ数は九十九名(既卒生三名を含む)に達しました。前年度から一学級減少したにもかかわらず、合格延べ数は五名増加いたしました。

卒業生二百五十六名に対する国公立大学の現役合格延べ数の割合は三七・五%でありこの五年間で最高でありました。内容におきまして、名古屋大学(二)、神戸大学、九州大学などの難関大学に合格しております。また、岡山大学、広島大学(四)、地元愛媛大学に二十九名(既卒生一名含む)合格と健闘しました。国公立大学合格延べ数九十九名のうち推薦・AO入試で合格した生徒は五十名で、この三年では一番多い人数となっております。

私立大学においては、早稲田大学、東京理科大学、明治大学、中央大学(二)、法政大学、関西大学(十四)、関西学院大学(六)、立命館大学(四)、松山大学(五十七)など合計三百名合格しました。

商業科においては、国公立大学に一名合格したのをはじめ、私立大学八名、私立短大一名、専門学校五名が合格し、十三名が進学しました。就職におきましては、事務系の求人数が少なく厳しい中、全体で二十四名が就職し、そのうち事務職が七名と健闘しました。公務員におきましては、難関を突破し、愛媛県事務職に一名、愛媛県警察官に一名、西条市役所(事務)に二名、西条市役所(消防)に一名合格しております。

ここで、今年度の入試状況の分析をしてみます。一月十三、十四日の二日間行われた大学入試センター試験におきましては、志願

者数五十八万二千六百七十一人(昨年比一・二%増)、受験者数は五十五万四千二百二十一人(昨年比一・二%増)といずれも昨年比に比べ微増し、現役生の志願率は過去最高となりました。国公立百六十六大学の一般選抜(推薦AO除く)の募集人員十五万五千四百七十七人に対しては四十六万五千七百八十八人が志願し、平均四・六倍(前期三・二倍、中期一三・五倍、後期九・七倍)の難関に挑みました。難関大学や医学科においては後期日程廃止・縮小の動きが続いており、推薦・AO入試でよい意欲の高い学生を確保する傾向がますます強まっております。東京大学の推薦入試、京都大学の特色入試、大阪大学の世界適塾入試などが実施されました。

今後は、センター試験に変わる『大学入学共通テスト』が現高校一年生の学年から実施される予定であり、そこで重視されるのは思考力・判断力・表現力です。これらの力を確認するための入試改革が進んでおり、推薦・AO入試だけでなく、一般入試などにおいてもこれまでない傾向の入試問題も更に増えつつあります。このような入試改革に対応できるよう、本校でも課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びであるアクティブ・ラーニング型の授業等を研究している段階です。

また、英語外部検定試験を利用する大学も増えているため、これまでに以上に英検等の資格取得にも力を入れていかなければならないと考えています。

これからの新しい時代に対応し活躍できる人材の育成に努めて参りたいと考えておりますので、今後とも母校の進路指導に御理解をいただき、愛すべき後輩たちへの温かい御指導・御支援を賜りますようお願いいたします。

全国大会出場者

〔体育関係〕

- 全国高等学校総合体育大会 陸上競技部 男子 400H 弓道部 女子団体 女子個人

〔文化関係〕

- 全国高等学校総合文化祭 美術部 美術工芸部門 全国書道パフォーマンス甲子園 書道部

〔定時制関係〕

- 全国高等学校定時制通信制体育大会 卓球部 男子 1名 女子 3名

総集特

総会開催年でありました平成29年は、200名余りの参加者を得、十月二十九日(日)ヘルフォール西条で開催されました。当日は、前日からの台風の影響で天候が心配されましたが、午後には天候も回復し、予定通り開催することができました。

総会に先立ち、本部・支部役員懇親会が開催され、短い時間ではありましたが有意義な意見交換会となりました。

開会の挨拶ののち、物故者への黙祷、真鍋和年会長(66回)、佐伯幸治校長(80回)挨拶、来賓紹介の後、寺川和夫事務局長(65回)より、平成28年度会務報告・会計報告、監査報告、平成29年度事業計画・予算の説明がなされ、滞りなく総会議事を終えました。

引き続き、元、東京工業大学教授・石川智久理事(73回)を講師に、「健康は人生の宝!」宇宙ビッグバンから学ぶ健康増進法」と題した基調講演が行われました。石川氏は、巧みな話術で会場を飽きさせず、笑いに包み、健康の大切さと対策をお話しくださいました。

恒例の親睦会は、東京道前会の近藤清史副会長(64回)の乾杯のご発声の後、越智将文さん(72回)「タイムトンネルセレクト:ピアノ木下明子さん」の歌とフラダンス講師・渡部孝子さん(79回)のアトラクションでお楽しみいただきました。

また、今回も空くじなしという福引大会も行われ、会場は大いに沸き、盛会のつちにお開きとなり、名残りを惜しみつつ散会となりました。



ミラバケツ。...それはミラいにバケる新ソ材

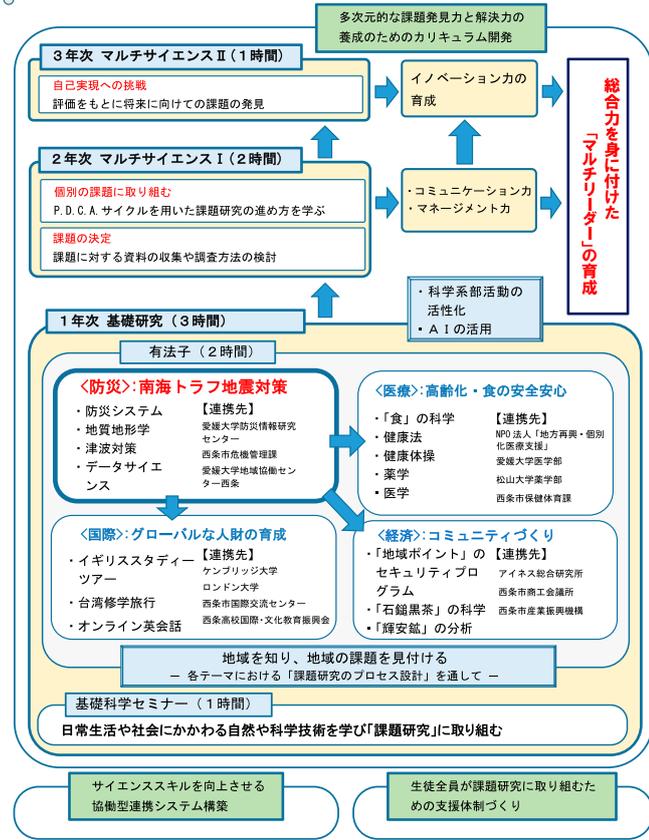
未来に化ける新素材

kuraray

株式会社 **クラレ**
西条事業所

(SSH 本体)

南海トラフ地震の学びを通した多角的なマルチリーダー人財育成
～総合高校(普通科・国際文理科・商業科)の生徒全員が課題研究に取り組むためのプログラム～



「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」は、国が先進的な理数教育を実施している高校等を指定する事業です。この事業の目的は、高校段階から体系的な先進的理数教育の実践を行うことで、高校生の科学的な能力・思考力等を培い、将来世界をリードするイノベーションの創出を担う科学的人材を育成することにあります。

今年度、全国で二百校余りの高校が指定される中、本県では本校、松山南高校、宇和島東高校の三校が指定されています。指定期間は五年(その後の継続も可)です。五年間を通じて総額五千万円の教育的経費が国から支援され、道前会は、従来から「道前塾」の開催など、次世代リーダーの育成に御尽力いただいておりますが、SSH事業の推進におきましても御支援と御協力を賜りたいと存じますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

道前会の皆様方には、従来から「道前塾」の開催など、次世代リーダーの育成に御尽力いただいておりますが、SSH事業の推進におきましても御支援と御協力を賜りたいと存じますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

この資金を活用することにより、世界や日本の最先端で活躍している研究者を講師として招いたり、海外を含めた様々な研修や課題研究活動を充実させたりすることができ、また、国立研究開発法人科学技術振興機構の指導を受けながら、大学、研究機関、民間企業との連携が促進され、教育活動の深化が期待されます。

国の調査では、SSH事業に対して、科学技術に関する学習意欲や未知の事柄に対する生徒の興味・関心が高まり、SSH指定校卒業生の理数系学部への進学割合の増加や大学院進学率の向上など、より高い学習レベルに到達する効果が得られているという評価がなされています。

本校では、理系分野のみならず、文系分野においても、科学的視野に立って物事を考え、より高い目標に向かって進んでいくことができる次世代リーダーを育成するために、このSSH事業を活用してまいります。

スーパーサイエンスハイスクール

平成29年度一般会計決算報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日 単位 円

科目	当初予算額	更正予算	収入額	増	減	摘要
前期繰越金	2,265,015		2,265,015	0		
収入	4,000,000		3,734,000	266,000		平成29年度分 1,867件
入会金	2,676,400		2,659,900	16,500		全日制 803名 定時制 10名
手数料	27,000		13,500	13,500		名簿3冊
広告料	160,000		180,000	20,000		会報広告9件
雑収入	50,505		80,024	29,519		利息等 24 市役所50,000 68回同窓会30,000
前払金収入	80		80	0		
合計	9,179,000		8,932,519	246,481		
支出						
総務費	700,000	600,000	567,493	32,507		振込手数料(218,237) 伊予銀行残高証明(324) 支部総会祝金(90,000) 他
需用費	100,000	100,000	98,568	1,432		複写機使用料(18,073) 電気代(35,577) 他
通信費	150,000	150,000	146,863	3,137		電話・インターネット(112,647) 郵送料(34,804)
旅費	250,000	250,000	182,760	67,240		支部総会出席
人件費	1,700,000	1,600,000	1,545,000	55,000		給料(840,000) 賞金(705,000)
事業費	3,800,000	3,800,000	3,700,502	99,498		会報(2,682,364) 支部補助(450,000) 全国補訂(155,000) 卒業記念他(283,920) 卒業50年案内(33,256) 他
会議費	100,000	100,000	93,952	6,048		評議員会(78,714) 理事会(15,238)
総会費	300,000	500,000	494,079	5,921		
予備費	2,059,000	2,059,000	0	2,059,000		
前受金支出	20,000	20,000	20,000	0		
合計	9,179,000	9,179,000	6,849,217	2,329,783		
収支差引額			収入額 8,932,519 - 支出額 6,849,217 = 繰越額 2,083,302			

平成29年度積立金会計決算報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

前期繰越額	4,000,000	(任意積立金 4,000,000)
当期積立額	0	
当期取崩額	0	
次期繰越額	4,000,000	

平成29年度全国大会出場祝基金会計決算報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

前期繰越額	1,156,165
当期積立額	0
当期取崩額	324
受取利息	10
次期繰越額	1,155,851

平成29年度末財産目録

平成30年3月31日 単位 円

預金		資産合計	7,239,153	内
東予信用金庫普通預金	5,400,951			
愛媛銀行普通預金	1,155,851			
柳ゆうちょ銀行振替口座	678,873			任意積立金 4,000,000
伊予銀行普通預金	3,478			全国大会出場基金 1,155,851
				一般会計繰越金 2,083,302

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。

平成30年4月9日



平成30年度一般会計収支予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日 単位 円

科目	予算	前年度予算額	増	減	摘要
前期繰越金	2,083,302	2,265,015	181,713		
収入	4,000,000	4,000,000	0		平成30年度分
入会金	2,747,700	2,676,400	71,300		全日制@3,300×829人 定時制12名
手数料	13,500	27,000	13,500		名簿等
広告料	240,000	160,000	80,000		会報広告料 @30,000×8
雑収入	50,498	50,505	7		預金利息、寄附金等
前払金収入	0	80	80		
合計	9,135,000	9,179,000	44,000		
支出					
総務費	700,000	600,000	100,000		振込手数料(220,000) 支部総会祝金(130,000) 他
需用費	150,000	100,000	50,000		電気代、複写機使用料
通信費	200,000	150,000	50,000		電話料、郵送料
旅費	300,000	250,000	50,000		支部総会出席2名
人件費	1,700,000	1,600,000	100,000		給料、賞金
事業費	3,800,000	3,800,000	0		会報発行(2,600,000) 支部補助(450,000) 全国大会等補助(250,000) 卒業記念品代(400,000) 卒業50年案内 他
会議費	150,000	100,000	50,000		評議員会、理事会
総会費	0	500,000	500,000		
予備費	2,135,000	2,059,000	76,000		
前受金支出	0	20,000	20,000		
合計	9,135,000	9,179,000	44,000		

平成29年度 会務報告

平成29年

- 4月 10日(月) 平成29年度入学式
- 4月 11日(火) 平成28年度会計監査
- 4月 19日(水) 理事会
- 4月 26日(水) 評議員会
- 5月 24日(水) 理事会
- 6月 3日(土) 近畿道前会総会
- 6月 18日(日) 東京道前会総会
- 6月 21日(水) 理事会
- 7月 1日(土) 岡山道前会総会
- 7月 19日(水) 理事会
- 8月 1日(火) 第1回道前塾
- 8月 13日(日) 芸術文化発表会
- 8月 19日(土) 支部総会: 西条ひうち球場
- 9月 6日(水) 運動会
- 9月 13日(水) 理事会
- 9月 16日(火) 文化祭準備(午後)
- 9月 27日(水) 文化祭・第2回道前塾
- 10月 11日(水) 理事会
- 10月 22日(日) 広島道前会総会
- 10月 29日(日) 道前会総会: ヘルフォーレ西条
- 11月 12日(日) 今治道前会総会
- 11月 26日(日) 松山道前会総会
- 12月 9日(土) 第3回道前塾
- 12月 13日(水) 理事会・反省会

平成30年

- 1月 17日(水) 理事会
- 2月 21日(水) 理事会
- 2月 22日(木) 市役所道前会総会
- 2月 28日(水) 道前会入会式
- 3月 1日(木) 平成29年度卒業式(第118回)
- 3月 22日(木) 理事会

平成30年度 事業計画書

会報の発行(第26号は平成30年6月1日発行予定)

道前塾の開催(開催日時・講師は未定)

支部活動への助成並びに同期会開催等への支援・協力(資料作成等)

卒業生へ記念品の贈呈(卒業証書ファイル・道前賞)

新入生へ給書書の贈呈

生徒の全国大会出場へのお祝い(高体連・高野連・高文連主催)

文化祭における在校生への啓発活動(道前会コーナーの開設)

文化発表会の助成

支部会だより

東京都前会

幹事長 明比 章 (70回)

東京都前会だより

平成29年度の総会は、6月18日(日)11時より、昨年と同じく濃い緑に包まれた明治記念館において開催されました。梅雨の季節の当日は雨が心配されましたが、開始までは何とか持ち、お集まりの方の出足を削がないで済みました。その結果、約百六十名の方々にお集まりいただきました。来賓として、新たに就任されました、母校の佐伯校長先生、真鍋道前会長、玉井西条市長、そのほかに近畿道前会から会長代理として浜会計幹事、東海道前会から森山副会長にもお越しいただきました。

総会は、東京都前会山内会長の開会の挨拶に始まり、来賓として佐伯校長先生と真鍋道前会長にご挨拶をいただきました。また、玉井市長からは、西条市の今などについて熱のこもったお話をいただきました。続いて明比幹事長から活動・会計報告、事業計画・予算案、人事案の上程や、得永会計監事から監査報告などがあり、賛成多数で承認されました。さらに就任する役員のご紹介がありました。

そのあと乾杯に移り、例年のように年の差が70歳ほど開いた大先輩の國田さん(44回)と、今年母校を卒業した最年少117回3人にご登壇いただきました。老若男女仲良く乾杯の音頭を取っていただき懇親会の幕を開けました。



今回のアトラクションは「歌とピアノと踊りで華やかに」と題して、歌は山路さん(73回)、ピアノは渡辺さん(114回)が伴奏及び独奏を、最後に踊りは松永さん(64回)が歌とピアノの伴奏で花柳流の踊りを披露して下さいました。懇親会の中で、今回も寺田運営委員長が会場を回って初参加の方々を中心に紹介をしました。恒例のお楽しみ抽選会では、村上副事務局長が進行し、ピアノを弾いてくださった渡辺さんに抽選していただき、いろいろな方々にお手伝いいただきました。抽選の都度、一喜一憂する声が無れる抽選会でした。

最後は恒例の女学校校歌に始まり、南海道前、校歌に続いて、本会応援団長の秋山さんと十亀さんリードのもと、応援歌を元氣よく歌って会は最高潮に達しました。締めくくりとして、一柳副会長の開会の挨拶があり、来年の再会を期して、

今年の楽しい総会の幕を閉じました。

その他の活動として、6月、母校からの依頼により修学旅行生の会社訪問の企画をし、本会会員の会社4社で実施しました。9月、母校文化祭へ、総会でピアノ演奏をしてくれた渡辺美月さんにも行っていただきました。渡辺さんは母校で教育実習をしていたこともあり、多くの生徒が慕って本会のPRコーナーへ集まってくれました。また、本部総会へは近藤副会長に行ってくださいました。10月、珍しく3日間とも雨だった西条まつりのあと、これも台風20号の雨に見舞われた中、19名の参加による年1回のゴルフコンペの熱戦を展開しました。1月には新年会を日比谷パレスで開催し、49名参加しました。4月上旬には本会会報誌を発行します。このように東京都前会は1年間を通じて活発に活動しています。

東海道前会

副会長 森山桂一 (60回)

1、平成29年度は総会開催年度(隔年開催)ではなかったので総会は開かれなかつたが役員の高齢化、病氣、転宅などの諸事情により役員交代が行われた。

渡部宏副会長(51回)は高齢のため退任し、長野達夫副幹事長(58回)が副会長となった。渡部宏氏は退任したが幹事に留まって会の運営の指導に当られる。

また浅木慎一幹事長(71回)は体調不良により退任、河端睦子会計幹事(62回)も西条に転宅したので退任した。

新たに幹事長には後藤貞行氏(62回)、副幹事長には妻鳥勝行氏(71回)、会計幹事には伊藤稔氏(71回)、また新たに幹事として若手の松本琢也氏(89回)が臨時幹事会で選出された。6月の総会で正式に決定される。

後藤新幹事長は登山やテニスなどでスポーツマンとして活躍しており、妻鳥副幹事長、伊藤稔会計幹事、松本新幹事などフレッシュな幹事を加えて新しい体制で懸案だった会誌発行などの東海支部活性化対策に取り組みることとなる。

2、恒例の東海道前会親睦ゴルフコンペが平成29年11月22日(水)行われた。少しでも参加者を多くするため場所はパブリックで格安の名古屋港ゴルフクラブが選ばれた。当初参加者は11名(昨年は10名)であったが山路会長が風邪のため長野副幹事長は急用で来れなくなったため急遽9名で



愛媛バス株式会社

本社 〒799-1302 西条市楠甲547-1 ☎ (0898) 66-0303

代表取締役社長 森川 和 俊 (100回卒)



のスタートとなった。前日の予報では午前中風雨強しの予報だったので全員雨の準備をしていたが参加者全員の日頃の行いがよっぽどよかったためなのか？スタート直前からゴルフ日和となり一日ゴルフを楽しんで親睦を深めることができた。

成績は例年優勝候補の遠山利弘氏（65回）が参加できなかったためホルインワン2回の実績を誇る実力者森寅男氏（68回）が予想通り優勝した。ちなみに寅はタイガー森はウツズ（woods）なので森氏は往年の世界の覇者を自称している。

2位は中原俊三郎氏（59回）、3位は伊藤定彦氏（70回）であった。

二〇一七年度近畿道前会総会は、六月三日（土）「ホテルグランヴィア大阪」に於いて、三浦東八近畿道前会会長の開会挨拶を初めとして開催された。

二〇一七年度近畿道前会総会報告

幹事長 圖子洋志（69回）

近畿道前会

を理解しながら、素晴らしい講演内容に全員が聞き入った。

又、今年度は百十五回卒の若手会員が七名も参加してくれて総会を盛り上げてくれた。来年は若手会員を五十名も増やしてくれろという頼もしい言葉を頂いた。本当にありがとうございます。

今年も愛媛県のゆるキャラ「みきゃんちゃん」が新しい装いで参加され、参加者の目を楽しませてくれた。ご苦労様でした。

近畿道前会のホームページで、総会の模様を写真で皆様にご紹介しておりますので、是非ご覧ください。



岡山道前会

幹事長 工藤 隆（71回）

平成29（2017）年度の岡山道前会の総会は、7月1日（土）11時より「岡山アークホテル」にて開催いたしました。来賓として、西条市より新任のお二方、第9代道前会会長真鍋和年様と第36代西条高校校長佐伯幸治様がお越しくくださいました。

幹事長の三浦賢稔氏により以下の内容にて進められました。

- 一 黙祷
いままでに鬼籍に入られた会員の方々のご冥福をお祈り
- 二 会長挨拶
菅会長がご欠席のため、佐竹副会長
- 三 来賓挨拶
真鍋道前会会長、佐伯西条高校校長
- 四 議案審議
平成28年度事業計画・決算報告、平成29年度事業計画案・予算案
- 五 役員改選
後述
- 六 顕彰
今年度は該当者なし

議案審議につきましては、特に異論なく原案通り承認されました。

役員改選につきましては、会長の菅尊士氏が退任され後任に副会長の佐竹恭介氏が、幹事長の三浦賢稔氏が退任され後任に工藤隆が、それぞれ選任されました。

また、恒例となりました三浦氏のご尽力で収集されました「道前会関連資料」・母校関係

卒業生の進路状況、部活動、在校生の活躍、卒業生の活躍



・郷土・道前会関係
早慶戦の開催、西条祭り、石鎚山、その他

・岡山道前会関係
岡山道前会の活動（本部会報掲載、母校文化祭での本部ガイダンス参加）

・会員の活躍
県展覧会（書道）、芸（歌壇・俳壇の新聞掲載）

が配布され、出席者に興味深く見ていただきました。

総会に続きまして懇親会に移りましてなごやかな雰囲気のもと、進行は新幹事長の工藤が三浦氏を引き継ぎ担当いたしました。

佐竹新会長の乾杯の音頭にて開宴し、来賓の真鍋会長と佐伯校長に再度登壇していただき、総会での挨拶とは違って変わりリラックスした内容でのスピーチ

西 条 金 融 協 会

伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫 百十四銀行
 広島銀行 香川銀行 西条市農業協同組合 四国労働金庫

の披露となりました。その後は、出席者の方々からの近況報告と移り初ご出席・久しぶりご出席・常連の会員による楽しいお話をうかがいました。更に宴たけなわとなり、恒例のカラオケの十八番披露工藤による西条祭りの伊勢音頭等で多めに盛り上がり、中締めで来年の再会を祈念し閉幕となりました。

長い間岡山道前会にご尽力・ご活躍されました菅会長・三浦幹事長より、佐竹氏・工藤が引き継ぎ役員の方々と運営して参ります。この場をお借りして本部・各支部の方々には更なるご指導・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

広島道前会

幹事長 氏家 豪 (68回)

平成29年度広島道前会総会は10月22日(日曜)12時より、ホテルセンチュリー21広島に於いて開催されました。

総会当日は超大型台風21号が直撃かと案じていましたが、進路が南の海上に逸れ、参加予定の20名の皆様のご出席をいただきました。来賓として母校から佐伯校長先生、本部から真鍋道前会会長が、悪天候にも関わらずお越し下さいました。総会は広島道前会大下会長(69回)挨拶に始まり、佐伯校長先生と真鍋道前会会長に来賓ご挨拶をいただきました。

初めての参加の方も多数おられましたので活動報告をし、松本会計より会計報告、一色監査より監査報告があり、全員の手で承認されました。

また平成29年度春から計画をしていた「広島道前会ホームページ」を正式に9

月中旬に開設したことを管理人より報告し、プロジェクトスクリーンに映してご覧いただきました。

懇親会は佐竹相談役(49回)の乾杯の音頭で開宴。昨年、好評だった自己紹介で、若い世代の参加者から、皆様それぞれの西条高校の古き良き時代の、自分達の知らない話をもっともっと聞きたいとの要望が有りましたので、そちらに少し時間を割き世代を超えて楽しく懐かしく聞かせていただき、和やかな会食となりました。

一つのテーブルでは、初参加の方が偶然隣同士になり、クラブ活動の1年先輩後輩で、数十年振りの予期せぬ再会が有り、「同窓の良さ」を象徴する感動の場面となって、役員としましても感無量の思いでした。

会の最後には昨年同様参加下さった池下翔哉さん(113回・元西条高校応援団長)による応援エールを合図に全員で



校歌斉唱。次回総会での再会を約束し、一色相談役(53回)の一本締めで閉会しました。

今回は、全会員の方に往復葉書での総会案内とし、ホームページ開設の報告も同時掲載しました。

ホームページのトップ頁に「広島島の地：同窓と互いに連絡を取り合いながら、親睦を図り」と、理念を掲載しています。総会の際はもとより、充実したホームページとなる様、内容のある発信をし、交流に繋げ、少しでも理念に近づける様に努めて参りたいと考えております。ブログ(新着情報)の「西条便り」には、普段見られない(見過ごしがちな)故郷西条の素晴らしい風景写真の投稿をいただいています。道前会員の皆様是非ご覧下さい。

次回平成30年度総会も10月(案)を予定しています。お会い出来ますよう、そして新たな出会いもあれば、と心よりお待ちしております。

松山道前会

会報部長 渡部 横井(英子) (76回)

松山道前会活動報告

第72回国民体育大会・第17回全国障害者スポーツ大会の愛媛での開催により、例年より遅くなりましたが、11月26日、平成29年度松山道前会総会が東京第一ホテル松山で開催されました。今回の総会には、中・南予地区合わせて92名の会員の出席がありました。またご多忙の中を、母校から佐伯幸治校長(80回)、道前会

本部から真鍋和年会長(66回)・栗田肇副会長(58回)、今治道前会から西辻勝平会長(52回)が来賓としてご出席くださいました。

総会は例年通り、安藤敬朗事務局長(68回)の司会進行で開会。参加者全員で校歌を斉唱したあと、物故会員の方々に黙祷を捧げ哀悼の意を表しました。藤本諫男会長(58回)による開会挨拶に続き、佐伯校長・真鍋道前会会長よりご祝辞をいただきました。来賓紹介のあと議事に移り、松山道前会の活動報告や収支報告がありました。

引き続き行われた秋川暢宏氏(56回)による「千の風になって」よせて夢を持って」と題しての講演では、ご子息であるテノール歌手・秋川雅史氏の、幼少時代から音楽の道に進むまでの様子をお話しくださり、楽しく興味深い内容に出席者全員が耳を傾けました。最後に「歳をとっても夢を追いかけていきたい」と結び、「千の風になって」を独唱。素晴らしい歌声に感動したひとときでした。

懇親会は徳永周三副会長(69回)の乾杯の音頭で開宴し、卒業期別に配置されたテーブルで親交を深めました。途中事務局から、伊藤茂氏(63回)の「西条誌絵図今むかし」の出版報告や亀岡マリ子氏(65回)の「旭日小綴章」受章披露があり、お二人に万雷の拍手が送られました。その後、亀岡副会長の閉会挨拶により、総会を終りました。

今回の総会には、49回卒から117回卒の世代を超えた会員の皆様が多数参加してください、明るくにぎやかな雰囲気の中で開催になりました。松山道前会では学生の方々が参加しやすいように学割を適用しています。ぜひご活用ください。事務局では一人でも多くの会員の皆様に参加していただくために、開催日時等に

17th “さいじょう”コーラスフェスティバル  入場 無料

西条で活動しているコーラグループの発表会

と き 2018年7月15日(日) 開演 13:00 (予定)

と ころ 西条市総合文化会館大ホール

ついても検討しており、平成30年度総会は10月27日土曜日、11時から開催する予定で計画を立てています。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

また、会員相互の親睦を図るため、ゴルフコンペも春・秋季2回開催しています。コンペの参加者も募集中です。総会同様、皆様のご参加をお待ちしています。



今治道前会

幹事 中須裕二 (85回)

総会を開催

2年ぶりとなる今治道前会の総会を平成29年11月12日(日)16時から今治国際ホテルにて開催いたしました。

来賓に真鍋和年道前会会長(66回)、栗田肇副会長(58回)、笹沼美千代副会

長(58回)、年森恭子副会長(79回)、寺川和夫事務局長(65回)、山田順前副会長(71回)村上直子理事(78回)藤本諫男 松山道前会会長(58回)、そして母校より池田哲也教頭、村上浩二教頭、鈴木強事務長を迎え、総勢39名の出席を得ることができました。

安藤志朗今治道前会幹事(72回)の司会のもと、西辻勝平今治道前会会長(52回)が開会の挨拶を行い、来賓者を代表して、池田哲也教頭及び真鍋和年道前会会長の挨拶を賜り、来賓紹介の後、懇親会へと進みました。

今回の総会では、重要な議題や報告は特には無く、懇親会中心の総会となりました。

懇親会では、真鍋俊治氏(75回)の乾杯の音頭により始まり、久しぶりの懐かしい顔に顔がほころび、近況報告や懐かしい高校時代の話が花が咲いていたようでした。



また懇親会の中で、菊原恵子氏(79回)

から「西条大保木の銀納義民」のお話をして頂きました。出席者の卒業年度も52回から111回と幅広く、学年を超えた話の輪があらこちらで広がっていました。かくして懇親会は終始なごやかな雰囲気が進み、楽しいひと時を過ごすことができました。

和気あいあいの内に懇親会も終わりととなり、またの再開を期しつつ、出席者全員で校歌を高らかに斉唱し、在間通浩氏(111回)に万歳三唱で絞めて頂き、長井孝司今治道前会副会長(70回)の閉会のあいさつで、総会を無事終えることができました。

今後も、定期的な開催を目指して行きたいと思しますので、会員の皆様、参加ご協力のほど、よろしく願いたいと思います。

道前会西条市役所支部

幹事長 武田 聡 (77回)

道前会西条市役所支部便り

西条市は、本会会員でもある玉井敏久市長のもと、「ワクワク度日本一の西条」を目指して、「市民主役の西条」をはじめとする5つの基本政策を推進しており、常に一歩先を見つめ、職員一丸となって全員参加型のまちづくりに取り組んでいるところです。

さて、当支部は、平成29年度総会を平成30年2月22日、ベルフォーレ西条にて開催しました。当日は、来賓として道前会から真鍋和年会長、年森恭子副会長、学校から池田教頭と村上教頭のご臨席を賜り、総会では29年度事業報告及び決算

報告、30年度予算案を承認・可決し、役員改選では武田仁志会長(75回)、柳瀬康治副会長(70回)を再選しました。

懇親会では、真鍋会長、池田教頭から祝辞をいただき、玉井市長の挨拶、年森恭子副会長の乾杯の発声の後、約70名の参加者が世代を超えて和気あいあいと親交を深めました。

当支部は平成30年1月現在で、349名の会員を擁し、若い世代の入会も続いておりますが、引き続き会員相互の親睦と融和を図るとともに、母校に最も近い場所に位置する支部として、今後も微力ではありますが、西条高校の発展に協力させていただきますと考えております。



♪♪

“さいじょう”クラシックフレッシュコンサート

18th 2018.8.11 [土・祝] 開演 14:00 (予定) 西条市総合文化会館大ホール **入場無料**

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

随 想

関行男中佐を偲んで

越智忠子(女40回)



秋空の好い天気... 関行男中佐が昭和十九年... 島神風特攻隊第一号として...

西条祭りのダンジリが好きだった関中佐の記念碑は、今西条神社のお隣の榎本...

- 一、武丈の花の 精うけて... 大和心の 敷島隊... 吹けよ神風 花吹雪...

- 五 五つの肉弾 轟然と... 六 大君の為 神風は...

皆、涙を流しながら心の底から合唱しました。その時急に北の方から爆音が聞こえ、飛行機が二機、私達の頭上を旋回しました。

関行男さんの生家は、栄町商店街の私の店の斜め前にあります。今は豊かな時代です。戦争の時代にくらべ、皆賢沢に暮らしております。戦争は絶対に駄目です。現在の平和がずっと続きますように祈念しつつ、昔のなつかしい思い出を書きました。

萬造寺齋「緑の国へ」の復刻発刊について

白川幸司(57回)



この度、大正8年頃西条中学の教師をしていた萬造寺齋「緑の国へ」が復刻し書籍化されました。萬造寺齋(まんぞうじひとし)と言っても、道前会の会員でも殆どの方が知らないと思います。私も西条高校「創立百周年記念誌」を読むまで知りませんでした。

彼は与謝野鉄幹の高弟で明治、昭和の歌人・英文学者で小説なども多いと人名

辞典などでは紹介されています。「緑の国へ」は大正10(1921)年から彼の郷里の鹿児島新聞(現南日本新聞)に連載された小説ですが、「萬造寺齋選集十巻」にも含まれていません。この小説が単行本として発刊される切っ掛けは平成8年発行の西条高校「創立百周年記念誌」に愛媛新聞から転載された、河野啓一さんの「萬造寺齋と西条」というコラムです。

萬造寺齋は西条中学でリーダーの教師をしていた時の事情などを背景に「緑の国へ」を執筆しています。彼の西条中学への赴任は東京帝国大学時代からの朋友で既に西条中学の教師だった江南文三(後に石川啄木の後をうけて「スバル」の発行・編集人などで活躍)の誘いによるもので、小説の主人公・黒川は江南がモデルとされています。

私は母校の「創立百周年記念誌」に転載されていたコラムを読んで、「緑の国へ」のことを知り、是非読んで見たいと図書館などで探しましたが有りませんでした。私は現在神奈川県に住んでいますが一昨年までは福岡市に在住していて、山岳活動を通じて鹿児島県在住の萬造寺齋一さんという方と知り合いになりました。萬造寺と聞いて苗字が珍しいので創立百周年記念誌のコラムのことを話しましたところ、彼が萬造寺齋の甥であることが分り、その奇遇に驚くとともに「緑の国へ」を探してもらいました。その結果、書籍としてはなく唯一鹿児島県立図書館に鹿児島新聞の保存フィルムがあることが判明しました。

そこで萬造寺齋一さんは「緑の国へ」の復刻・書籍化を企画しましたが、その保存フィルムは状態が悪く解読に3年間の大変な苦勞を費やして、この度ようやく出版にこぎつきました。山を愛し山の短歌が多い萬造寺齋の小説が私の山友によって出版にこぎ着けたことを祝福すると共に、そのささやかな橋渡しが出来ることに私は満足しています。

ストーリーは人妻への叶わぬ恋の物語で漱石の「坊ちゃん」を彷彿させる小説ですが、石鎚山や加茂川の光景、現在の私たちが知らない当時の西条中学・武丈での花見・西条の港や夜の街などの様子が情緒豊かに描かれています。私と致し

ましては郷里を舞台に書かれた「緑の国へ」が郷里の多くの方に読まれることを願っております。「緑の国へ」は萬造寺齋一さんの好意で西条市立図書館・西条高校図書館や道前会などに納めさせていただきましたが、楽天ブックスなどでも購入できます。(平成29年5月記)



思い出くまに 南極・沙漠・黄砂・人工降雨 九州大学名誉教授 真木太一(62回)

私は昭和37年卒です。高校卒業後、東京府中市(大都會の郊外)の東京農工大に入學し、卒業後、九州大学大学院に進学して農業気象学を専攻しました。農林省入省後1年で南極に赴き、第11次越冬隊員(1969、1971年)として昭和基地で南極高気圧の生成と構造の解明のため、世界初の南極持ち込みの超音波風速計で自分の建てた20m鉄塔上で乱流観測をしました。思い出は、30の中、鉄塔の風速計の設定・取り替え作業で指に凍傷を負い、後日皮が厚くむけたことや、40の海氷上でのカブス(観測小屋、ガス中毒で暖房無)内から毎時間の観測後、凍り付いた寝袋に潜り込むも暖まらないままの継続などです。その他南極での体験や欧州回りの帰国時の旅行は印象的でした。一方、沙漠研究では高温の沙漠で道に迷い、最後の水も飲んで仕舞い、辛うじて辿り着いたことや自分の体が障害物となり、つむじ風を発生させたことなどです。

研究は、南極(超安定気層の乱流特性、南極気象気候、海上上の熱収支、雪ドリフト、オゾン濃度)、フロリダの松防風林の乱流評価、植被層内外の空気の科学的風特性、防風施設の冷害・風害気象改良、防風網の基準化、風害・気象災害防止、地球温暖化と農業気象、砂漠化気

和洋酒、御贈答品、名産品 創業125年 純米大吟醸うちぬき「水どころ」 石鎚地酒 他 各種 ギフト、ひめ貝、海苔等名産品、額縁 他 西条市大町1702 ☎ 56-2282代 FAX 56-2278 会長 越智 忠子(女40回) 社長 越智 哲(73回)

象、中国の沙漠・砂丘・黄砂、草方格の微気象、森林火災と気象変化、農業気象学用語解説集・風の事典出版です。郷里では、西条神戸のホウレンソウ栽培地域の冷気流観測で冬季の暖風・乾燥風で良品ができる現象を解明し、人工降雨では2013年西条沖上空で液体炭酸を散布し、西条・新居浜から徳島祖谷溪・高知大豊まで130万トンの雨を降らせました。

気象・気候の研究では、かなり広範囲に及びますが、特に「風」一筋に研究に没頭し、論文等を人一倍執筆してきました。振り返ると研究・教育者でありながら、このため家族には苦勞を掛けたが、妻共々、2回にわたり皇后での天皇陛下拝謁は、亡くなった両親や姉兄に対して、さらには高校・大学までの先生方にも、幾分なりとも恩返しできたように思います。

研究業績は、原著論文107編、著書46冊(単著12冊)、学会・商業誌360編、総計3,200編です。最近の著書に2012年『人工降雨』『黄砂と口蹄疫』2014年『自然の風・風の文化』(以上:技報堂出版)、2012年南方新社『小笠原案内』海風社『沖縄ガイド』があります。2015年エゴノミストの特集西条高校に、研究者10人程の中に名前が出て、光栄に思いました。2016年日本百名山を踏破し、現在、日本百高山は88山です。

美術館へ

高橋 仁(76回)



フェルメール・ブルーでも知られる「真珠の耳飾りの少女」のように、優れた美術作品には何かしら惹きつけられるもので、私が絵に興味を持ったのは、偶然、教育テレビで見た「モンパルナスの灯」という映画がきっかけでした。主人公の画家モデリアーニが描く顔と首が異様に長い人物と、作品に流れる静謐な空気に心が揺さぶられ、それ以来、工

コール・ド・パリや印象派など美術史について調べたり、展覧会情報をチェックし、旅のスケジュールにも入れるようになりました。

母校では、野球部に所属し体育会系の自分にとって、美術の分野は縁のない世界だと思っていました。考えてみれば、スポーツも美術も感覚(センス)が必要で、一つひとつの基本的積み重ねが優れたパフォーマンスを生み感動を呼ぶところも似ており、知らず知らずのうちに関心が深まったようです。

県庁生活の最後に愛媛県美術館の館長職に就いたのは、そのことが理由ではありませんが、展覧会の企画・広報をはじめ、教育や観光、福祉など幅広い分野とつながり、地域の活性化にも貢献する仕事に携われたことは貴重な経験になりました。中でも昨年は、えひめ国体で天皇皇后両陛下が来館された際に、ご指導役を私の経歴などについて、にこやかにお声掛けをいただいたことは、大変光栄なことであり、思い出に残るものでした。

そして、仕事への理解が深まるにつれ、美術館は、単に美術作品を鑑賞するだけでなく、子供とワークショップに参加したり、夫婦や友達と買物のついでにカフェで寛いだり、ギャラリートークやコンサートを楽しんだり、訪れる人誰もが心豊かに過ごせる癒しの空間で、とても身近な存在であることに改めて気付かされました。

「美術館は堅苦しくて」と尻込みする人もいます。一人でふらりと立ち寄る人もいます。誰かと一緒に、気になる作品をどう感じるか話しながら鑑賞する人もいます。目的や利用の仕方はどうあれ、思い思いに気持ちを取りフレッシュし、感性を刺激、磨くことで新しい自分



を発見することができず。また、良い人間関係を築くためのきっかけにもなっていないかな面白いです。

この会報が発行される頃、美術館では、明るい色彩と単純化された形を特徴とする作風で知られる熊谷守一の回顧展が開かれています。その後、江戸美術の名品を紹介する『川端康成・東山魁夷コレクション展』や、海運王ウィリアム・バレルが収集した良質の絵画を紹介する『印象派への旅 バレルコレクション展』など、バラエティに富んだ必見の展覧会が目白押しです。

私は、この3月末で定年退職しましたが、これからも美術館に親しみながら教養を広げたり、人との交わりを楽しみたいと思っています。皆さんも自分なりの楽しみ方を探しに、新緑の季節の中、美術館へ出かけてみませんか。

染色工房

「伊予小紋いちよう」

徳永早映(107回)



昨年西条にUターンし、伊勢型紙を使い着物を染める伝統工芸「江戸小紋」の職人として独立しました。小紋師徳永早映と申します。

私は東京の大学を卒業後、江戸小紋師・藍田正雄氏(群馬県高崎市にある親方の工房で約5年半の修行を経て帰郷、9月に染色工房「伊予小紋いちよう」を開設しました。江戸小紋とは、江戸時代、武士の袴の模様付けから発展した伝統的な染色技法です。遠目では無地に見えるほど柄が細かく非常に高度な技術が必要です。現代では機械印刷も多く出回っていますが、全て手作業で作る江戸小紋の技に魅せられ、この世界で生きていくことを決めました。

好きでした。実家が材木屋で、職人さんを身近に感じていたことが今の道にも繋がっていたのかも知れません。また西条祭りが大好きで、「だんじり」や「みこし」に美術作品としての魅力を感じ、絵画や陶芸など美術品へ興味を広がりました。西条高校在学中に美術館や民芸館に足を運ぶうち、「大学では美術史を学びたい」と思い、日本伝統紋様の研究を進めていくことになりました。

研究の中で職人さんと会う機会が増えたことや、美術館でアルバイトをして沢山の素晴らしい作品に出会えたことがきっかけで、「作る側の人間になりたい」と思うようになりました。染色工房を訪ね歩き、出会えた親方の技を見た時、まさに私が研究してきたことやっていきたいことが結びつきました。

修行生活は大変で失敗を繰り返しながら技術を習得していきました。4年目、日本伝統工芸染織展に入選し、技術的な話も親方や兄弟子とできるように。頃、「将来西条で工房を作りたい」という思いを実行に移そうと意識し始めました。親方は私の気持ちを受け入れてくださり、「基礎が大事。あとは自分の思うように、自由に表現していきな」と言葉をいただいたことは、いつまでも忘れません。

屋号の「伊予小紋」は、「江戸小紋」に郷土愛とこころから新たな染色文化を作っていく覚悟を込めて名付けたものです。伝統工芸品を身近に感じていただくため、着物以外にも袱紗など小物製作も行っています。お客様に喜んでもらえるものづくりをしたいと同時に、この土地ならではの染色表現を目指しており、西条周辺で江戸・明治期に好まれていた紋様の調査や、石鎚山や瀬戸内海を表現したオリジナルデザインの開発も行っています。「霊峰石鎚」と題した柄は完成し、「伊予小紋いちよう」ブランドの第一歩となっています。着物は呉服屋さんへの卸、小物はオンラインストアで直販をおこなっており、贈り物・記念品・オーダーメイドも承っています。一歩一歩ではありますが、生み出す作品・商品・技を通して、愛する西条の美しさを広く届けていけるよう精進いたします。

JXTGエネルギー株式会社 特約店

株式会社 三河屋

代表取締役 戸田 孝一郎(65回)

愛媛県西条市神拝乙137-2 電話: 0897-56-2038





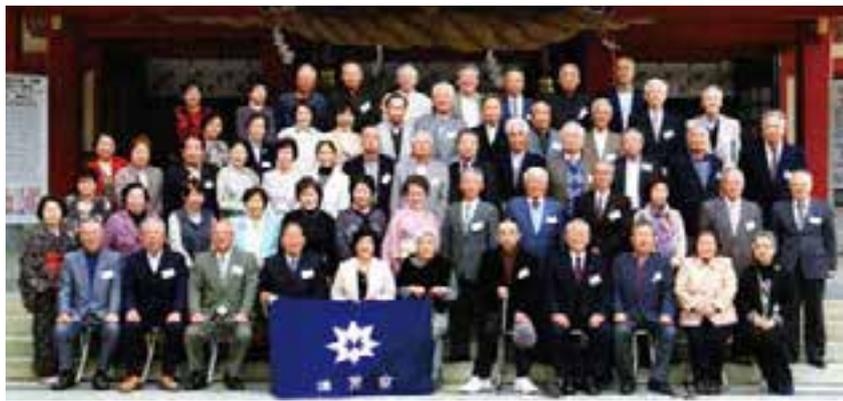
同窓会だより

燦燦会傘寿祝とパスツアー

豊田 幸枝 (58回)

平成三十年四月七日桜東風の中、霊峰石鎚山を背に建った祭神石鎚毘古神様の本社に於て北は東京南は九州より六〇名が集まり、燦燦会主催傘寿祝いのお祝いを受けました。

肅粛と進行する厳かな神事の中で、御神像拝体神事は六名の同級生が御神



像を持ち、友達の背中を拝体する様は清々しい気持ちとなり感銘を受けました。その後会館に移動傘寿を祝う会開催。宴会は豪華な折詰お酒は飲み放題、気焔の上がる賑やかで楽しい会となりましたが、刻は過ぎゆくもの、名残りの惜しい気持ちをそれぞれに持ち校歌合唱し本日は解散。翌日は来島海峡を渡り大三島へ出発です。

開山は役の小角や花吹雪
幼な顔残る八十路の花吹雪

第62回卒業生同級会

堀江イツチ (62回)

私達62回卒業生の同級会は、不定期であったのを二年に一回と改めて二〇年がたち、今回で十回目となりました。変化をつけ、場所を変えて、という思いと、遠くから帰ってくる人達の、「故郷に帰りたい」、「故郷の様子を見て、なつかしみたい」などの意見を参考に『変化と故郷』をテーマに、西条から出発、今治国際ホテルで同級会、しまたなみ観光、と計画しました。

同級会は五時からでしたが、受付の始まった四時過ぎから、みんな、六十年近い時を越え、高校時代にかえり、話がはずみ、尽きることがありませんでした。

写真を撮り、先立たれた同級生を偲び黙祷、挨拶、校歌、乾杯で一次会が始まり、あつという間に八時前、「もう時間が過ぎていきます」とホテルの人に、すまなさそうに言われ、あわてて

万歳三唱し、お開きに。その後、二十三階でコーヒータム、それでも話が尽きず、個人の部屋に集まり歓談、明日があるので残念ながら、その日は解散となりました。

次の日、又、朝食から話はずみ、それはパスの中でも、絶えることはありませんでした。

経験豊かな同級生の、精選した観光ルート、晴天の中、桜満開のしまなみを観光してまわりました。

亀老山展望台では、青い海の中を点在する島々、それにかかる橋、瀬戸内海の景色の素晴らしさを堪能し、大山祇神社では、素晴らしい国宝の数々に加え、同級生が寄贈した南極大陸の石を見て、話に花が咲きました。潮流体



験では、丁度大潮で満潮の時を設定していただけ、潮流の凄さを体験、感嘆しました。

今回、高校卒業以来の再会となった同級生も数人おり、久しぶりに顔を会わせると、当時の面影そのままに、なつかしく、楽しい時間を過ごすことが出来ました。加えて、友達同士に心くぱり、やさしさ、友情、を随所に感じさせてもらいました。感動でした。

夢のような二日間でした。

又二年後、元気で会えますように!! と心から祈りつつ……

世話人の方々、御苦労様でした。同級会を成功させるため力を尽くして下さりありがとうございます。

思い出深い時間をありがとうございました

第六十八回卒業生 曾我部 力

平成三十年三月一日、卒業証書授与式に招待をいただきました。

昭和四十三年三月一日に卒業式を迎えた我々には五十年ぶりの母校での卒業式参列という時間をいただくことができました。あの時も秋に完成したばかりの体育館での卒業式でありましたが、今回も真新しい、以前とは比べ物にならない立派な体育館での卒業証書授与式でした。

前日の二月二十八日は夕方から一日早朝にかけて春の嵐が吹き荒れ、JR予讃線の土居駅では一時運行停止という事態になったり、瀬戸大橋線が通行できなかつたり、当日参加の方々は「間に合うのだろうか?」と心配されたのではないのでしょうか。



祝! 傘寿

~この絆いつまでも~

燦燦会 58回卒業生



の暖かく、心配していた体育館の冷えも余りなく滞りなく授与式が終わりました。五十年前と違うのは当時、国立大学の一期校試験が三月一日から始まっており「受験のため欠席」という言葉が飛び交っていました。今は受験環境が大きく変わってきており、多くの卒業生が出席されていたのでうらやましい感じがしました。

我々の同級会も今回が六回目で前回は平成二十一年一月開催でした。卒業後四十年余り経過し、生活の本拠地が関東圏や近畿圏になりますと、地元が親も亡くなり、兄弟がいるもの西条から足が遠のく」という声もあり

「次からは場所を変えて開こう！」ということでは場所は修学旅行先であった「東京」での開催となり、平成二十四年十一月、約二十名の参加で行いました。

その後、卒業後五十年の節目に在校生の卒業式に招待されるということを知り「その時は同級会を開かないといけないね」ということになったものの、全く準備不足で、年末になって道前会事務局から「打ち合わせをしたいけど誰に連絡をしたらいいのか」と幹事に連絡があり、そこからお鉢が回ってき次次第です。

こうなると相談相手も忙しいので、ある意味独断と偏見で事務局の寺川・村上両氏のご指導をいただきながら進めて行きました。

同級会の内容は、卒業アルバムと修学旅行の集合写真、校歌や応援歌を歌うのだから応援歌の背景にある野球部の甲子園出場記録を愛媛新聞から取り寄せ、更に平成十六年二市二町の合併による新西条市なので市役所から広報ビデオの使用許可を受け一つのDVDとして上映しました。

今回の同級会は近畿圏でお世話をいただくということで話がまとまっています。元気に過ごし再会を楽しみにしています。

西条高校第69回卒業生 コース同窓会

幹事一同

「担任をして下さった三木先生が西条にいらっしゃることだし、コースの同窓会をしらうかしら？」
「いいね。学年全体の同窓会もいい

けれど、こじんまりとコースでもの」というわけで、初めてのコース(二組)の同窓会が実現しました。

平成二十九年五月三日(水)、会場は西条南中学校近くのレストラン「sober」。

コースと言っても、三年間固定しているわけではなく、一年から二年に、二年から三年に進級する時、当然コース変更する人がいます。また、住所不明の人もいます。どれくらいの人に案内状を出せるだろうか、まずは、手分けして電話なり、メールなり、連絡してみよう、ということで、三人の発起人がそれぞれ動き、多くの人の協力により、最終的に百人に同窓会案内の往復はがきを出すことができました。

結果、出席者は二十七人(男子十九名、女子八名)。遠く埼玉県狭山市、鎌倉市からの出席者もいました。一方、出席すべく東京から帰省されたのに、転倒しそうになったお母さんをかばってご自身が骨折、入院となった人がいたのは、大変残念なことでした。(もう回復されたことですが、本当にお気の毒でした。次回は、是非ご出席下さい)

「出席」の御返事を頂いていた三木先生は、当日、腰痛がひどくて欠席されると知り、一同大変残念に思ったことでした。「三木先生は、八十歳は越えていらっしゃるよね。」と小声でささやいていると、八十八歳だと教えられ、ご長寿を喜ばしく思うと同時に、改めて、卒業以来流れた年月に思いを馳せました。卒業以来、ほとんど五十年！

一度も会ったことがない人は、顔を見てわからないだろうと容易に想像できませんでしたので、大きな名札を用意し、女子は旧姓で名前を書きました。開会時の「乾杯！」の音頭は、一番



遠くから来てくれた人にしてもらおうと幹事で話し合っ決めていましたので、狭山市在住のS君にお願いしました。開会後しばらくは、懐かしさのあまり、座席近くの人との話に花が咲いていましたが、やがて、司会者が「出席者名簿の順番に、近況報告なり、自己紹介なり、自由に話して下さい」と言うので、アイウエオ順に一人一人立ち上がって、これまでのことを話し始めました。大勢の孫に囲まれて、「孫、万歳！」の人、大病をして何度か手術をして大変だった人、職を転々として今日に至っている人、また、男手ひとつで、年長のお母さんの世話をしていることを手話を交えながら語ってくれた人、息子さんによいお嫁さんが来るのを楽しみに待っている人、母校に教師として勤務し、毎日大手門をくぐるのが楽しみだった人等、話を聞きな

～ 卒業50年に感謝して～

来年京都で会いましょう！ 68回卒業生

がら、それぞれの人生が垣間見えました。本当に「人生、いろいろ！」散会后、希望者は一次会へ。

翌五月四日、会を欠席された三木先生のお見舞いに、女子の有志四人がご自宅に伺いました。先生の腰痛は少し軽くなられたとのこと、歩いておられましたことをお知らせしておきます。

二〇一九年には、卒業後五十年ということで母校から卒業式の案内が届く予定です。卒業式に出席させて戴いた後、同窓会を開くことになると思いたすので、今回出席できなかった皆さん、誘い合って、一人でも多くの人が同窓会にご出席くださいますようお願い致します。

還暦同窓会に参加して

高橋 孝雄 (77回)

年始に西条高校1977年卒業生還暦同窓会に出席しました。この時の様子は愛媛新聞四季録(私が昨年10月から今年の3月まで毎週木曜日を担当)の中でも紹介させていただきました。この度この会報で執筆の名誉をいただき再び紹介させていただきます。平成30年1月2日、昭和33年・34年生まれの同級生が、今年4月から来年3月未だに全員還暦を迎えるということで開かれた、スペシャルな同窓会。先生方もご出席くださいました。80歳を超えられた先生も当時の威厳を保っておられ、思わずこちらの背筋が伸びました。77歳のある先生が「私はこれから新しいことを一つやろうと決めている。私に比べれば君たちは若い。これからいくらかでも新しいことができるだろう」との励ましの言葉をくださいま



した。特別ゲストで西条市長も参加してくださいました。彼は82回卒業なので、私たちより5歳もお若い。野球部だったそうで、先輩方から手厚い激励を受けていました。西条の未来は間違いなく明るいと思えました。出席者全員が卒業アルバム顔写真がついたネームプレートに胸に着けていました。顔を見て名前を見ると当時の顔がオーバラップします。しかし、私だけはみんなから「変わり過ぎて全然分からん」と言われてしまいました。多分、当時はおとなしくて目立たない

存在だったのです。当時の印象があまりなく、初めてしつかり僕を見た人が多かったのかも知れませんが、遠くのテーブルに、もう一度会いたいと思っていた人が来ていました。すぐに行きたかったのですが、挨拶をどうしようかなどと躊躇。意を決して、ビールを注ぎにいき、ほんの少しだけ話すことができました。胸がいつぱいになったせいか、その後会場ホテルの豪華な食事を、ろくに食べることができなかつたのですが、これはビールを飲み過ぎていたせいだったかも。

会では、当時流行っていた懐かしいフォークソング「夢の中へ」「岬めぐり」など5曲みんまで歌いました。私はギター伴奏を頼まれ、年末に新しく買った小ぶりのギターを持って行って弾きました。そのギターを当時の音楽仲間にかかき、歓談中にちよつと弾いてもらったら「良いギターだね」と褒めてくれました。ギターを弾いている彼のその横顔は、昔と少しも変わりません。この同窓会に参加して、自分が還暦を迎えることの抵抗感が少し和らぎました。同じ時代を生きた仲間。みんな一緒に還暦を迎えましょう。次の同窓会は5年後。どんなか代を過ごしているのが、今からとても楽しみです。

母校に立つ 同窓教職員

卒業回	氏名	教科
69回	高橋 徹	非常勤・商
72回	青野 洋士	講師・保体
72回	村上 勇人	非常勤・書道
74回	吉田 弘	講師・理科
75回	高橋 伸二	初任者研修
75回	越智 篤子	講師・養護
77回	神野 雄子	実習助手
79回	川口 洋	教諭・理
80回	佐伯 幸治	校長
83回	桑原 恵子	教諭・英
83回	宮崎 健	教諭・数
84回	矢野 裕房	教諭・理
86回	藤原 博	教諭・地歴公
87回	近藤 浩志	教諭・商
87回	渡辺 洋子	教諭・商
88回	田邊 水江	教諭・英
90回	田代 知典	教諭・理
90回	三崎 直毅	教諭・音
91回	國田 誠司	教諭・地歴公
113回	小川 慶也	講師・保体

昨年の掲載に間違いがありました。訂正しお詫び申し上げます。

(誤) 宮崎 健 教科(理)

(正) 宮崎 健 教科(数)



ギャラリーラボ
Gallery Labo



店主 野間省一 (第83回卒)
TEL : 0897-47-3207
愛媛県西条市大町708番地3号



本部及び
各支部役員

一、本 部
道前会本部 事務局

〒793 8509 西条市明屋敷234 西条高校内道前会館
 FAX0897 53 2192
 振替口座01680 4 8745
 会長 真鍋 和年 (66)
 副会長 栗田 肇 (58)
 理事 笹沼(田中)美千代 (58)
 曾我部 保次 (87)
 近藤 勝志 (56)
 武智(十亀)晴子 (56)
 西原 俊基 (58)
 森美(藤原)真知子 (60)
 遊口 親之 (62)
 伊藤 孝司 (64)
 高石(曾我部)シヨ子 (64)
 井上 隆寿 (65)
 安永(中野)道子 (66)
 徳永 博久 (67)
 武智(日野)美恵子 (67)
 森森() 多美子 (68)
 一 柳 武志 (69)
 岡田 典良 (70)
 越智 将文 (72)
 越智 哲 (73)
 石川 智久 (73)
 鳥谷 智浩 (76)
 一色(星加)朝美 (76)
 伊藤 良二 (77)
 白川 裕三 (78)
 村上(村上)直子 (78)
 秦(安藤)千草子 (80)
 藤田 道則 (84)
 佐々木 充 (110)
 川口 洋 (79)
 矢野 裕房 (84)
 阿蘇(伊藤)道子 (63)
 会計監査 秦 敏明 (57)

二、支 部
東京道前会

〒105 0012 東京都港区芝大門1 7 4
 トーア芝ガーデン6F
 FAX03 5733 2313
 会長 山内 重徳 (67)
 副会長 近藤 清史 (64)
 幹事長 一柳(柳)ユカリ (66)
 副幹事長 明比 正章 (70)
 猪川 正徳 (74)
 津田(林)由美 (74)
 今井 哲洋 (70)
 得永 哲也 (74)
 福本 信彦 (74)
 瀨川 信環 (74)
 榎谷 正美 (81)
 寺田(鈴木)紀子 (70)
 曾我 夏人 (81)
 和田 卓也 (86)

東海道前会

〒461 0011 名古屋市中区白壁4 2 8
 山路法律事務所内
 FAX052 931 6306
 会長 山路 正雄 (40)
 副会長 松本(松本)順子(白) (50)
 幹事長 松本 順子 (50)
 副幹事長 森 桂夫 (58)
 後藤 貞一 (60)
 妻鳥 延美 (71)
 伊藤 稔 (71)

近畿道前会

〒06 7635 1433 工堀 治夫 (58)
 顧問 藤 喜 (50)
 (平日のみ)

岡山道前会

〒700 0926 岡山市北区西古松西町5 2 5
 事務局 三浦賢稔
 顧問 菅 尊士 (67)
 副会長 佐竹 恭介 (75)
 幹事長 工藤 隆 (71)
 幹事 門田 強 (53)
 高井 克清 (52)
 河原 賢也 (53)
 三浦 賢稔 (58)
 矢原 登子 (59)
 土居(大館)玲子 (53)
 安永 雄 (53)

松山道前会

〒791 0303 東温市北方722 2
 (株)フォーネット内
 FAX089 966 1038
 幹事長 大下(夏目)美恵子 (69)
 副幹事長 松本 真豪 (68)
 幹事 松本 真豪 (68)
 監査 一色 敬義 (53)

広島道前会

〒730 0847 広島市中区舟入南3 5 11
 事務局 大下美恵子
 相談役 佐竹 優 (49)
 副会長 河端 敬義 (55)
 幹事長 伊藤 光秋 (56)
 副幹事長 大下(夏目)美恵子 (69)
 幹事 松本 真豪 (68)
 監査 一色 敬義 (53)

今治道前会

〒799 1522 今治市桜井1 1 1
 (株)旭東産業内
 FAX0898 48 5637
 副会長 西辻 勝平 (52)
 副会長 村上(寺川)小夜子 (70)
 副会長 長井 孝司 (72)
 幹事 戸田 行 (78)
 安藤 志朗 (85)
 中須 裕二 (85)
 新居 田幸 (103)

西条市役所道前会

〒793 8061 西条市明屋敷164
 FAX0897 52 1200
 副会長 武田 仁志 (75)
 副会長 柳 康三 (78)
 幹事長 白川 裕三 (78)
 幹事 山内 隆和 (79)
 監査 明比 志 (80)

定時制道前会

〒793 8509 西条市明屋敷234
 FAX0897 56 5151(代)
 副会長 真木 光夫(内線29) (55)
 副会長 松本 守正(55定) (55)
 幹事 山崎 輝雄(74定) (74)
 幹事 大森 正清(60定) (60)

相談役 三浦 野夫 (49)

副会長 藤本 諫弘 (57)

副会長 亀岡(高橋)マリ子 (65)

副会長 徳永 周三 (69)

副会長 高塚 真志 (76)

副会長 渡部(横井)英子 (68)

副会長 安藤 敏朗 (76)

副会長 寺町 達朗 (77)

コーヒーの香りとともに憩いのひとときをあなたに・・・

喫茶 ホツとタイム



祝！ 衆議院議員当選

森 夏枝 (100回)
(日本維新の会)



第48回衆議院議員選挙に
おいて京都3区から立候補
され見事当選されました。
おめでとうございます。

祝！ 瑞宝中級章受章

真木 太一 (62回)



東京大学農学博士・ノリダ大学畜産科学研究所
農林畜産技術研究所 瑞穂大学教授・九州大学教
授・琉球大学教授・九州大学客員教授・筑波大学員教授
日本農学学会、日本農学協会、早稲田学
日本学術会議(農学委員)など各団
体

平成十七年

紫綬褒章(農業気象学) 受章

平成二十九年

春の叙勲 瑞宝中級章(教育研究功勞) 受章

祝！ 旭日小綬章受章

亀岡マリ子 (65回)



元愛媛県公安委員会委員長
男女共同参画局長

平成二十九年秋の叙勲

旭日小綬章受章

国家公安委員長(小比木大臣)から勲記・勲章
の伝達を受け、引き続き皇居へ参内して天皇陛
下に拝謁の栄を賜り感激の極みでございました。

「道前塾」

道前会には、各界で活躍している素晴らしい
先輩方が多くおられます。
その先輩方の特別のご配慮により、講演や座
談会を通して先輩と交流することのできる「道
前塾」がスタートしました。そこでは、生徒た
ちに、勉学や進学・大学や研究について深く考
えるいい機会を与えていただきました。

第1回

「テクネチウム・99 (Tc同位体) がひらく
宇宙物理と医学の世界」



永井 泰樹 (62回)
大阪大学名誉教授・東京工業大学名誉教授
理学博士(物理学・宇宙科学)

「ベトナム稲作農民とともに歩む国際協力学」



山路 永司 (73回)
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
農学博士(環境学)

第2回

・国立総合大学とはどんな所か

・大学で学ぶことの意義

・研究室に所属されて行う研究について

・社会に出る時に求められること



佐竹 恭介 (67回)
岡山大学名誉教授・岡山大学特任教授
理学博士(有機合成化学)

第3回

「安全・安心な社会構築のための災害シミュレータの開発と
リスク・コミュニケーション」



二神 透 (81回)
愛媛大学防災情報研究センター
愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科

寄贈物目録

掛軸「十河信二の書」

大谷 英明氏 (90回) 寄贈



お知らせ

50年目の卒業式

会員の皆さまが卒業されて50
年目には、後輩の卒業式にご出
席いただき、晴れやかに巣立ち
行く生徒たちの門出を祝してい
ただきたくご案内しております。
西条高校第119回卒業式
が平成31年3月1日に挙行され
る予定です。

年会費のお願い

道前会年会費(1口2,000
円)は、母校生徒の活動を支援
するために使われています。会
員皆様の出来る限りのご協力を
お願いいたします。

寄贈図書目録

H29年度

「西条誌」絵図の今むかし
緑の国へ 萬造寺 齊

63回
57回

伊藤 茂氏より寄贈
白川 幸司氏よりの紹介
川口 勝則氏より寄贈
首藤 忠正氏より寄贈
萬造寺 謙一氏より寄贈
真木 太一氏より寄贈
菊地 豊栄氏より寄贈
59回
71回
旧職員
山田 順氏より寄贈
篠崎 敏之氏より寄贈

ライフ 世界の大都市 15巻 他
花は野にありて
自分史(風研究者の記録)
如月19号、20号
改訂・縮刷版 祭りの群像 他
銀納義民伝
和解の関



株式会社ジェイコム

【〒793-0073 愛媛県西条市氷見丙444-1】

終身利用権方式介護付有料老人ホーム
熟年コミュニティせとうち

0897-57-8100

入居者募集中

代表取締役 眞鍋 敏朗 (58回卒)